

## 第4回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会管理部会会議録

- 日時 平成29年11月17日（金）午後3時00分
- 場所 遠軽町役場 3階 大会議室
- 出席者 別紙のとおり
- 会議内容

### 1 開会

- ・佐藤登委員が町議会議員に当選され、委員を退任する申し出あり。

### 2 議題

#### （1）（仮称）えんがる町民センターの建設基本計画について

進行：宮崎部会長

説明：地域拠点施設準備室今井

説明要旨
<p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・施設の基本設計内容については、施設部会で今年の5月から合計で7回の会議を開催し、設計内容の検討協議を行ってきた。</li><li>・本日、配布している図面については、来週24日に開催する施設部会や12月議会に向けた各議会常任委員会に提示し、最終的な意見を伺ったうえで、内容を確定させたいと考えている。</li><li>・図面の説明については、スクリーンを使いながら、石本・日本都市JVから説明いただく。（コンサルタント）</li><li>・主な変更点について説明。</li></ul> <p>〈配置図、各階平面図〉</p> <p>【駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全面を考慮して出入口を1か所ずつ設け、敷地内は一方通行とする。イベント時等は混雑が考えられるため、臨時の出入口を開放し、対応する。</li><li>・駅側からの人の動線を考え、駐車場と人々が集まって滞留できる場所を提案する。</li></ul> <p>【1階】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大道具の搬入経路は、駅への通路を活用したものに变更している。搬入口と大道具庫は隣接し、大ホールへ容易に搬入できるように考えている。</li><li>・商工会議所は、色々と協議があったが、面積120～130㎡で固まってきた。商工会議所の配置については、単独で設けている駐車場を連携して活用できるようにする意図もある。</li><li>・事務室Aの配置を变更。主玄関に配置することで、管理・運営・安全面に配慮できる。また、岩見通に面したことで、活動や賑わいをみせる空間を作ることができていると考えている。</li><li>・ステージの向きを变更。スライディングウォールを使い、交流ホールと一体的に利用できるよう計画している。また、ステージは固定式から移動式に変更になっている。</li><li>・太鼓の練習スペースとなるスタジオを新たに設けている。以前は地下1階に配置していたが、音響コンサルの永田音響設計と打合せしたところ、太鼓の音を完全にシャットアウトすることは難しいとのことであり、できるだけ大ホールと離れた位置に配置した。1階に</li></ul>

配置したことで、倉庫の搬出入も楽になった。

#### 【2階】

- 和室エリアと南側に多目的室を設けている。サークルなどの活動を加味して、多目的室の性格付けを行った。例えば音楽系、製作系、会議・講習が行えるなど。1階に配置した太鼓の練習スペースの上に、音楽系や製作系など音が出やすい部屋を配置することで、音の処理をしやすくしている。

#### 【地下】

- 赤点線は、解体中の既存の病院の地下躯体部分であり、地下躯体の建築的に掘られてある部分に杭を打って、構造上、耐力として求められないので、そこを有効活用して地下を作ろうと考える。できるだけ赤点線の中に地下躯体を入れることで、コスト面でもメリットがある。
- 空調機械室や管理面で必要な部分を配置している。

#### 【ホール断面】

- イスの視線曲線の形状や、高さなどをご理解いただきたいが、数値だけでは分かりにくいので、のちほど3Dで現状のボリューム感を見ていただきたい。

#### <多目的室の計画概要・性格付けについて> (別紙)

- 今までは、多目的室を何室設けるか、どこに配置するかに重きを置いて協議してきたが、次の段階として、その部屋をどのように使うか、どのような性格付けをしていくかを議論に移った資料となっている。
- アンケートや現福祉センターで行われている活動、他の公共施設で行われている活動を調査し、年間スケジュールを作成。そこから見えてきたのが、資料にあるような性格付けの多目的室になる。

#### 【調理研修室】

- 調理室としてはもちろん、小ホール・交流ホールで行われる各種パーティの水場としても利用できる。また、災害時の炊き出し場所としての利用も考えている。

#### 【スタジオ・多目的室1(音楽系)】

- 太鼓はもちろん、吹奏楽のパート練習や軽音など音が出るもので使えるように考えている。

#### 【多目的室2(製作系)】

- イメージとしては、小中学校の図画工作室。音や声がしても平気なように考えている。
- 性格付けが決まってくると、その部屋にこういった設備が必要か分かってくる。例えば、この部屋であれば、水場。今後、より詳細な部分を図面に落とし込んでいくことができる。

#### 【多目的室4・5(講習・会議)】

- より多目的に使える部屋となっている。
- 図面点線部分をスライディングウォールで仕切ること、多目的室4・5を繋げて利用することが可能となり、大人数での利用もできるようになっている。

#### 【多目的室3(情報系)】

- コンサルからの提案。
- 昨今は、お年寄りのPC教室や、視聴覚室として利用されることが多い。

〈小ホールのステージ検討について〉

- ・移動式のステージを提案。間口約12m×奥行約4.8mとなっている。資料は、段々になっているが、一定の高さとして設置することもできる。普段は折りたんで収納。使用する際に、足を取り付けて、大人2名ほどで設置できる。1枚48kg、大きさは一番大きいもので2.4m×1.2m。想定する大きさのステージだと、24枚必要。実際に収納するのは、倉庫の赤で塗りつぶしてある部分。まとめてしまえば、倉庫に十分収まる。
- ・移動式にした経緯としては、ステージの向きなどを変えることで、様々な活動に利用できるということがある。イベントの際に、屋外で使用することも可能。大ホールに持っていき、吹奏楽や演劇でも使用することができる。砂川市のホールでも同じように使用しているということで、太田アドバイザーにご意見をいただいた。収納してしまえば、平土間を大きく使えるメリットもある。

〈ホワイエの性格付け・機能について〉

- ・どのように利用するかが、施設の売りになってくる。
  - ・アンケート結果などをもとに、4つの機能を抽出。
  - ・市民センターに集まってくる人の流れ(動線)を考察し、ホワイエの前の通りを「遠軽ストリート」と称し、4つの機能を配置。ここに賑わいを創出する。
- 【Play (プレイ)】
- ・子どもの遊び場となるスペース。
- 【Branding (ブランディング)】
- ・遠軽町を知ってもらうスペース。例えば、特産品の売り場、観光案内、掲示板など活動の情報スペースなど。
- 【Community Cafe (カフェ)】
- ・市民が集えるカフェスペース。オープンカフェをイメージしている。
- 【Foyer (ホワイエ)】
- ・主に幕間の休憩スペースとなるが、それだけではなく、ギャラリー、学生の勉強スペース、電車やバスの待合スペースなど。

【意見】

発言者	内容
宮崎部会長	疑問点や意見をいただきたいと思います。 駐車場は、柵か何かで囲うのでしょうか。
コンサル	柵では殺風景になってしまうので、緑の緩衝帯を用いて、人が出入りできないようにする予定です。
平野委員	例えば、遠軽駅に救急車を呼ぶとなった際に、どうするのでしょうか。
コンサル	車路側から入ることになります。
平野委員	普段は、途中から車が入れないようにしてあるのですか。
事務局	管理については、これから考えていかなければいけないですが、基本的には駅員さんが使う通路と体が不自由な方が使う通路を想定しています。駅の横で車を転回できるくらいのスペースはあるので、Uターンして戻ることは可

	能です。
平野委員	一方通行にするという訳ではないのですね。
コンサル	駐車場内は一方通行ということで説明しましたが、ここの部分については、車が2台分通れるスペースを計画しています。
宮崎部会長	幅がだいたい5.5mですね。
平野委員	除雪して、通れるのでしょうか。
事務局	遠軽駅の雪をどこに処理するかも、今後検討していかなければいけません。
平野委員	バスも入ると思いますが、道幅が少し狭い気がします。
事務局	バスを入れる想定は今のところはないと思います。
大西委員	停めないにしても、バスが駐車場の中に入ることはあると思います。
事務局	補足になりますが、駐車場と岩見通の外構工事については、別に設計を依頼しているため、建物の設計とも調整が必要となり、バスの件も含めてこれから検討していく予定です。
宮崎部会長	バスも出入りすると思うが、駐車場の出入口は広いのでしょうか。また、団体がバスで来たときには、バスは止められないということで、乗り降りするだけで、他の場所に停めにいかなければいけないのでしょうか。
事務局	それも含めて、外構工事の設計と協議していきたいと思います。駐車場の部分については、大きく変わる可能性があります。
大西委員	敷地については、当初と変わっていませんか。
事務局	変わっていません。
宮崎部会長	小ホールについてはいかがでしょうか。
平野委員	イスも固定しないので、これで良いと思います。
藤江委員	広く利用できるので良いと思います。
清水川委員	小ホールにテーブルは置くのでしょうか。使う予定があれば、倉庫に入りきるのでしょうか。
事務局	テーブルもちろんあり、それを収納するために、下側の倉庫2か所と右側の倉庫にスペースがあります。
宮崎部会長	交流ホールについてはいかがでしょうか。
事務局	交流ホールの関係については、3Dの動画で見た中で、イメージを掴んでいただきたいと思います。
コンサル	外観計画と中のイメージを共有できればと思います。 ～各方向からの建物外観及び屋内各ポイントからの建物内観の3D動画を映写し説明～

【意見】

発言者	内容
宮崎部会長	1、2階合わせて何か質問等はありませんでしょうか
事務局	会議室が今の福祉センターよりも減っているのではないかとされるかもしれませんが、福祉センターは大ホールを除いて20部屋あり、町民センターは楽屋を含めると16部屋、ふぁーらいとを別館と位置付けると会議室が3つありますので、現在の福祉センターの会議室数は十分に確保できていると思います。町民センターの稼働率を上げるのであれば、ちょうど良いくらいではないかと思えます。
宮崎部会長	公共歩廊は屋内だと思えますが、冬場の暖房はどうなるのでしょうか。
コンサル	今のところ、暖房エリアにしようと思っています。極力、開口部を少なくしていきたいと思っています。最初はガラス張りで検討していましたが、空調負荷が掛かってしまうので、開口は開けつつもランニングコストを踏まえて計画していこうと思います。空調の有無については、今後の議題で上げさせていただきます。
事務局	公共歩廊は夜は別として、日中は誰でも通れるスペースです。また、入口は自動ドアでエレベーターも設置する予定です。ホールの開館時間は9時～22時までと設定していますので、JRを利用する方を考えると、朝も早くに自動ドアが開くようにして、夜は町民センターの管理側で施錠するような計画で、24時間ではなく時間を決めて開閉する方が良いと考えています。施設部会ではこういった意見が出たのですが、管理部会としてはどうでしょうか。
宮崎部会長	使わないときは施錠されるのですね。
平野委員	施錠は必要だと思います。朝のJRの時間に合わせるような形になるのではないのでしょうか。
事務局	その時間に合わせておけば良いと考えています。
事務局	白滝や生田原方面から来る列車は、朝8時着くらいなので、それより少し早いくらいに開けておいて、学生がそこを通過して登校、夜もここを通過して、終電が終わったら閉めるようなイメージを持っていただければ良いのではないのでしょうか。待ち時間は、ホワイエで勉強や読書、友達と喋るなどしてもらいたいと思います。
コンサル	旭川方面への始発は7時44分、網走方面への始発は6時25分。開館時間は9時～22時としており、終電は22時10分くらいであるため、閉館の時間はちょうど良いのではないかと思います。議論すべきは、朝のタイムラグの時間をどう管理するかになります。
宮崎部会長	施設部会では説明は終わっているのでしょうか。
コンサル	終わっています。
平野委員	地下の躯体部分のスペースは、倉庫などに利用できないのでしょうか。商工会議所のスペースが足りるか心配です。

コンサル	今現在は、利用していない設計になっています。面積制限、工事費から面積を割り出しており、増やすこともできますが、その分工事費が掛かります。
大西委員	商工会議所のスペースはどれくらいでしょうか。
事務局	面積は、現在と変わらないくらいで、130㎡くらいです。左上にある倉庫スペースを利用してもらう予定です。指定管理を行うための事務室も左側にありますので、うまく調整して利用させていただきたいと思います。
大西委員	断面図の座席の傾斜について、砂川市の傾斜はどれくらいでしょうか。
アドバイザー	砂川市は移動式なので、参考にならないと思いますが、遠軽は見やすいと思います。
コンサル	名寄市くらいです。斜里町よりは角度は高くなっています。
アドバイザー	フォロースポット室の角度が浅すぎるかなと思います。
コンサル	今後、図面の中で、舞台機構、設備関係、備品関係、防災計画関係を詰めていって、図面の精度を上げていこうと思っています。

## (2)(仮称)えんがる町民センターの管理運営について

説明要旨
<p>(事務局)</p> <p>〈えんがる町民センター管理運営検討シートについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管理運営検討シートのP2、「割引制度」以降が第3回以降に検討した内容になっている。</li> <li>「割引制度」については、使用料金算定後に再協議を行う。</li> <li>「使用制限」については、福祉センター、総合体育館など同様の規定を設ける予定。基本的には引き続く3日以内の期間とし、それ以上の期間はただし書きの中で対応する。</li> <li>「飲食」については、メインホールのみ飲食を禁止する。</li> <li>「禁煙」については、施設内禁煙、屋外に設置する。</li> <li>「ごみの取り扱い」については、基本持ち帰りとする。イベント時には、主催者がゴミ袋を用意するか、施設で販売するゴミ袋を購入し、回収したゴミ袋を各自がゴミステーションに運ぶ。</li> <li>「防災」については、別途協議。</li> <li>「サポーター制度」については、友の会の設置など別途協議。事業部会などを立ち上げて協議予定。</li> <li>「助成制度」は、他市町村の制度も考慮しながら提案。</li> </ul>

### 【意見】

発言者	内容
宮崎部会長	何か意見はありませんでしょうか。
一同	～特になし～

説明要旨
<p>(事務局)</p> <p>〈ソフト事業提案について〉</p>

- ・大西委員から、2件提案をいただいております、1点目はジャズピアノコンクール、2点目はオホーツクポップスコンクールとなっております。

(大西委員)

- ・1点目、ジャズピアノコンクールについて、ジャズピアニストはヤマハのピアノを使っている方が多い。クラシックではヤマハの冠を付けたコンクールがあるが、他でやっていないジャズに特化したコンクールを、ヤマハピアノのふるさとである遠軽町で行うことに意味があるのではないかと。難しいことではあるが、ピアニストの方々からもサポートを得ながらであれば、実現できるのではないかと。遠軽町丸瀬布で部材が作られていることを知っている人は少ない。実際にミュージシャンに工場を見学してもらおうと、手作業で品質管理をしていることに感動する人も多く、ピアノに向かう姿勢が変わるといふ人もいます。知られていないのが現状なので、知ってもらっただけでも意味があり、この地でやるのがオンリーワンとなる。
- ・2点目、オホーツクポップスコンクールについては、実際に芦別で9年前から行われており、全道から15校の中学校の吹奏楽部が出場する。こういった大会は助成がなく、宿泊費用などの約25,000円は個人負担となっている。現在、オホーツク管内の中学校の吹奏楽部員は20校で約700人。地区ごとに分けると、遠紋地区で11校235人、北見地区で10校252人、斜網地区で9校214人。過疎化で10人以下の小規模で部活動を行っている学校も多い。コンクールには出場できないが、こういったイベントで表現の場を与えてあげることが大事ではないかと。また、一般的な吹奏楽コンクールでは、譜面通りに演奏できているか、キレイな音が出ているか、時間内に演奏できているかなどが評価の対象となるが、音楽を楽しんで、表現して、お客さんにどれだけ伝わったかを評価してあげるコンクールがあっても良いのではないかと考える。小さな規模の学校でもできるのではないかとこの思いがあり提案した。これまでに網走や上湧別の中学校が参加し、好成績を上げている。

【意見】

発言者	内容
事務局	<p>町民センターで新しい事業を行う際には、早いうちから企画を進めて、指定管理者に引継ぎを行い、施設への愛着や賑わいを生むことが大切であり、それが市街地の活性化にも繋がると思います。</p> <p>他にも委員の皆さんから提案したい事業などがあれば、ご意見をいただきたいと思っております。</p>
アドバイザー	<p>事業も並行して進めていかなければ、さあやるぞとなった時に後れを取ってしまいます。新しい施設ができてまずやるのは、地元の方々全員が参加できるような、いわゆる音楽劇をやるところが多いです。なぜやるかということ、地元の文化芸術をやっている人を呼び込むということで、ダンスや音楽、脚本など、色々な人を巻き込んで遠軽の歴史劇などを行うと、こういう人たちが町にいたんだということが分かってきて、そこで交流ができて、施設の道が一つ見えてきます。先日、砂川では全国から小中学生の落語家を集め、全国キッズ落語を行いました。マスコミが取材してくれ、全国・全道で放送し</p>

	てくれたことで、PRできました。マスコミに取材してもらうことはとても大事だと思います。大きな事業になると、北海道文化財団や地域創造から予算を引っ張りこめます。全国キッズ落語では、北海道文化財団から80何万円という予算をもらって運営しました。そういうことも考えながら、事業を行っていく必要があると思います。また、施設ができてくると、色々な事業をやり始めますが、やるためには、通路の壁に展示用のフックを付けたり、水が出る場所を何か所にするか、電源をどうするかなど、建築が固まる前に何が必要か出していかなければいけません。
伊藤委員	壁を利用してポスターを貼る場合、壁を傷める貼り方をしているところが多いと思います。磁石を付けられるように、壁の中に鉄材を入れる方法もあると思いますが、事前に言っておかないと、後から埋め込むことはできません。
アドバイザー	その通りだと思います。公共歩廊には、ポスターを貼っていくことになると思います。今は、引っ付き虫というガムのような取り外し可能なものもあります。壁の中に鉄材が入っているのは、とても良いと思います。
平野委員	どれくらいの数がいるか分かりませんが、防犯カメラをもちろん設置すると思います。これも、配線の関係があることから、建物を建てる前に決めておかなければならないと思います。
アドバイザー	今の時代は、カメラは必須だと思います。あちこちになければなりません。また、気になっているのが倉庫の数で、これで足りるのか心配であり、ロビーで使用するパネルやイス、机、その他の備品などを収納するとなると大変ではないでしょうか。また、イベントを行う際は、町民ボランティアの人に手伝ってもらうことになると思います。ボランティア活動を行っていく拠点になる部屋が欲しいと思いました。
平野委員	実際に事務室をどのように使っていくかということではないでしょうか。
事務局	ソフト事業の関係ですが、アドバイザーが言う通り、事業に関する部分は早く手を付けていかなければなりません。開館以降に手を付けていくのは難しいです。施設内部で何をやるかも含めて考えるために、事業部会の立ち上げについて検討していく必要があります。商工会議所や施設を実際に利用する団体からメンバーを募って、事業部会を立ち上げたいと思います。大西委員からの提案なども実現に向けて企画していきたいと考えています。来年に入ってからにはなりますが、部会を設置するというご理解いただければと思います。
大西委員	メンバーは公募したらどうでしょうか。若い人にやっていただきたいです。
平野委員	公募できたらその方が良くと思いますが、遠軽町の文化連盟をちゃんと機能させたいという想いがあり、会長などは居てもらって、+αで他のメンバーにも入ってもらい、その中に事業部会を立ち上げるのはどうでしょうか。一から新しい組織を立ち上げるのは難しいと思います。基礎はあるので、文化連盟の中に、実働部隊を置きたいという風に提案してはどうでしょうか。教育委員会などにも協力してもらう形で、その方が筋道が立つのではないのでしょうか。

事務局	まずは教育委員会にも話をし、文化連盟も関わっていくような形で考えていきたいと思います。
平野委員	遠軽町で活動する団体は、文化連盟に入ってもらえると良いと思います。大きい小さいは別として、色々な活動をされています。
大西委員	春に色々な団体の名簿が広報に入りますが、文化連盟に入っていない団体もたくさんあります。
平野委員	文化連盟に入って情報を共有してもらわないと、何か催事などを行っても見にくるのは身内だけになります。だから、盛り上がらないのだと思います。情報が上手く発信されていないと思います。うまく巻き込んでいければ良いのではないのでしょうか。
アドバイザー	他の町の例を出すと、文化協会・文化連盟と一緒にやっていくのはとても難しいと思います。新しい施設ができたからこそ、新しい組織を作らないと、若い人が寄ってきません。斜里町も、既存の文化連盟がありましたが、新しいものを作りました。諸先輩方がいるので難しい部分はありますが、新しい考え方で、新しいものを作っていくためには、新しい組織を作っているところが多いです。既存の組織に入っていくと、沈んでしまったりすることもあり、非常に難しい問題ではあります。
宮崎部会長	事業部会の立ち上げについては、事務局の方で進めていっていただきたいと思います。

説明要旨	
(事務局)	<p>&lt;えんがる町民センター管理運営方針(素案)について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでの検討協議会での意見や管理運営検討シートでまとめてきた内容をもとに作成した。</li> <li>• 1ページ、町民センターの建設に至った経緯や検討経過を記載。町民センターが将来に向かって多くの町民に愛され続ける施設となるよう、望ましい管理運営の在り方の方向性を示すため策定する。</li> <li>• 2ページ、施設の位置づけとして、遠軽町総合計画やまちづくり計画との関係、施設の名称、位置、基本理念としては、『音楽を中心とした文化活動を生かして、文化面から町の活性化を図るとともに、経済産業活動・地域活動の拠点となる「町民のよりどころ」を作り、育てる。』という遠軽町文化センター等を考える会から進言されたものを基本理念として設定。(4)の施設の基本的な機能については、「音楽を中心とした芸術・文化活動の拠点として、町の活性化を図る施設」、「中心市街地に新たなにぎわいや人と人との交流を創出し、町民のよりどころとなる施設」の2つの整備方針を踏まえ、4つの基本的な機能を有する施設とするもの。</li> <li>• 3ページ、アの芸術文化活動機能としては、大ホールでの吹奏楽などの活動、ダンス、バレエ、太鼓などの芸術文化活動の拠点とするもの。</li> </ul> <p>イの公民館活動機能は、これまでに福祉センターで行われていた会議や研修会といった公民館活動の拠点。ウのにぎわい創出機能として、共用空間を活用した、仮称の遠軽ストリ</p>

ートの設置やふぁーらいとの活用によりまちづくりの拠点とする。工の防災機能としては、福祉センターの代替施設として避難施設に指定し、備蓄倉庫や非常用電源の確保により、市街地における防災の拠点とするもの。(5)の基本設計については、建築に係る工事概算費用の35億円を基本として、施設の長寿命化や新エネルギーの導入によるランニングコストの低減についても配慮するもの。

- 4ページ、施設の各部屋の面積や利用イメージについては、まだ決まっていないため、基本設計が完了後に修正を加える予定。
- 5ページ、運営として、みなさんに検討していただいた内容を記載。休館日等の設定、利用申請方法、申請時期、一番下の使用料金については、まだ算定できていないので、設定の考え方を記載。
- 6ページ、その他として、使用制限や飲食、喫煙などについて記載。(2)の運営組織の考え方になりますが、「町民センターの管理運営については、指定管理制度の活用を基本とし、その選定に当たっては、公共施設の管理や各種イベントの企画等の専門性や経験値を有するとともに、施設の基本理念を的確に理解し、機能の確保を実現できる団体であることが望まれます。運営組織については、各種イベントの企画や経済産業活動などの蓄積された経験と専門性を考慮するとともに、これまでの遠軽町福祉センターの管理を受託し、施設管理ノウハウを有する遠軽商工会議所を指定管理者として協議を行います。町民センターは、貸館事業のほかに、自主事業に係る企画、広報や舞台技術といった専門性が必要とされることから、アドバイザーや外部の人材を効果的に活用していくことも重要であり、また、施設の清掃、警備を業務委託するなど、長年にわたり地域に定着し、継続していくことができる組織づくりが必要になります。」となる。
- 7ページ、組織体制のイメージを記載。館長の下には、総務責任者、事業責任者、技術責任者がおり、スタッフがそれぞれぶら下がっている。アドバイザーについては、館長や事業責任者、技術責任者に対するアドバイスを行っていただくもの。その下の、イの基本的な業務内容は、それぞれの部門における主な業務内容を記載、指定管理を受ける商工会議所が行う業務のイメージとなる。次に(3)のサービスは、町民センターで行うサービスの一覧を記載。情報コーナー、カフェ、ギャラリー、WiFi環境とJR遠軽駅とのバリアフリーでアクセスできる公共歩廊の整備。(4)の維持管理の考え方は、町民センターは、遠軽町福祉センターに比べて、会議室は減るものの、大ホールやリハーサル室などのこれまでの遠軽町にはない、高度な舞台関連設備を有するとともに、公共歩廊や駐車場などの施設が地域の人々に安全に利用されるためには、各種設備・機器等の性能確保を行い、確実な施設の維持管理を行っていく必要がある。今後においては、ランニングコスト軽減の面からも、将来的な施設設備の更新に係る中長期の維持管理計画を策定し、適切な維持管理を行う必要がある。
- 9ページ、(1)の事業実施の考え方として、先ほど話した4つの機能に則った活動を展開することとして、「自主事業」、「貸館事業」、「連携事業」を積極的に取り組む。アの自主事業については、主に大ホールを利用した様々なジャンルの公演事業を企画、地域の人々にできるだけ多くの鑑賞機会を提供するもの。事業の実施については、社会教育団体や教育委員会との連携、道内自治体の文化ホールとネットワークを組んで公演を企画・制作したり、プロの楽団・劇団との提携、住民参加型のコンクール・フェスティバルの開催などの、多彩な事業展開を行うもの。事業モデルとして、鑑賞は、札幌交響楽団などによる公演、

ジャズピアノコンサート、落語や演劇などとして会場は大ホールを使用するもの。参加創造としては、青少年吹奏楽団などによる演奏会、大西委員から提案のあったジャズピアノコンクールやポップスコンクールなど、大ホールや小ホールを利用するもの。普及啓発・育成としては、町民ファミリーコンサートや実技指導として、大ホールのほかにリハーサル室や遠軽ストリートなどの利用が可能と考えられる。

イの貸館事業については、町民や文化団体、学校等に大ホールをはじめとする諸室を提供するもの。貸館事業については、町民センターにとって大きな収入源となるが、窓口でのトラブル対応などを適切に行って、利用者にとって気持ちよく利用していただけるように、常にサービスを高めていく必要がある。ウの連携事業については、町民センターが地域において、文化面から町の活性化を図り、「町民のよりどころ」となるために、地域住民や関係団体などの外部と積極的に連携するもの。(ア)の地域住民との連携については、町民センター運営のサポーターとして地域の人々を取り込み、事業企画や運営業務の支援やボランティアを行う友の会などの組織づくりを考えるもの。(イ)の学校との連携については、町民センターににぎわいをもたらすため、学校教育や社会教育との連携は重要であり、特に将来に向かって施設が愛され続けていくために、子供たちや青少年が日常的に利用される施設作りが大切となる。芸術文化事業の提案や施設運営に係るアイデアなどの連携手法を考えるもの。(ウ)の他館との連携として、音楽ホールや文化センターとのネットワークを構築し、共同公演や情報交換を行うことにより、効率的な事業実施や経費の節減を考えるもの。(エ)の各種団体との連携として、交流ホールやホワイエなどの「遠軽ストリート」の機能を最大限に活かすため、あらゆる団体と連携し、各種イベントによる施設の活性化を考えるもの。次に(2)のプレ事業・開館記念事業、アのプレ事業については、町民センターの開館に向けて、早い時期から施設の周知を行い、期待や関心を高めるようなイベントを既存の公共施設などで実施するもので、町民や関係団体との協力連携により企画・実施するもの。イの開館記念事業については、完成した施設を使用して最初に行う事業ということで、町民をはじめとする多くの関係者と完成を祝うとともに、新しい施設の設備や機能を周知する重要な機会となるため、早い時期からどのような事業を行うか計画する必要がある。ウの事業推進体制については、早い段階から、プレ事業や開館記念事業の準備を行うための推進体制を構築しておく必要がある。施設を所管する課をはじめ、指定管理予定者や町民参加により検討する必要。

- 11ページ、予算として、収入、支出のそれぞれの考え方を記載。
- 12ページのスケジュールは、町民センター開館後、スムーズな施設運営を行うためには、指定管理者が日々の業務をイメージしながら、開館準備業務を行う必要だが、準備業務を始める前に、指定管理者との協議や議会の議決を経ることなど、指定管理者が決まるまでには、一定の期間が必要となる。現在想定しているスケジュールでは、平成30年度中に指定管理者との協議を行い、平成31年度には指定管理者の議会議決をいただく予定。そうしなければ、開館前のプレ事業・開館記念事業に係る企画、広報のほか、貸館事業の申込受付も、開館1年前から始める必要があり、受付、案内、舞台機構、照明、音響設備を担うスタッフの育成や、施設設備の操作、運用のための訓練期間なども必要。この管理運営方針については、検討協議会が素案を作成し、その素案をもとに、平成30年度の早い時期に遠軽町が策定し、指定管理者との協議やさらに具体的な運営方法の検討を行うための方針とするもの。

【意見】

発言者	内容
宮崎部会長	何か質問等はありませんでしょうか。この部分については、今後も話し合う機会があると思います。
一同	～特になし～
宮崎部会長	この後の部会のスケジュールとしては、どうなってくるのでしょうか。
事務局	来週、施設部会が開催されます。議会にこの内容を見せた上で、内容の修正があるかと思えます。そういった部分の確認で、何回か会議を行いたいですし、管理運営方針では使用料金の話など色々出てきますので、そういった部分も話し合いたいです。なお、検討協議会委員の任期は、来年の3月までとなっていますが、その後も継続させていただきたいと思っています。

(3) その他

**3 次回の日程について**

説明要旨
<ul style="list-style-type: none"><li>・次回は、全体会議として12月8日(金)の開催を予定している。</li><li>・今年最後の会議となり、午後6時頃から懇親会を開催したいと考えている。次回の会議案内を出す際に、合わせて通知する予定。</li></ul>

【意見】

発言者	内容
伊藤委員	図面は回収しないのでしょうか。
事務局	持ち帰っていただいて結構ですが、最終決定ではありません。独り歩きしないようご注意願います。
村上局長	個別の意見がいくつかありますので、後日、準備室に伺いたいです。
事務局	よろしくお願いします。

**4 閉会**

(午後5時00閉会)

## 第4回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会管理部会出席者名簿

区分	氏名	団体名等	備考
委員	宮崎良公	遠軽町自治会連絡協議会	部会長
委員	村上武志	えんがる町観光協会	
委員	藤江昭	遠軽町社会福祉協議会	
委員	井上幸次	北見地区吹奏楽連盟遠軽支部	
委員	平野由美子	フラスタジオ・UEDA	
委員	伊藤栄三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	
委員	大西定信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	
委員	清水川一儀	一般公募、連合遠軽	
アドバイザー	太田晃正	有限会社時円プランニング代表取締役	
事務局	加藤俊之	総務部長	
事務局	斉藤隆雄	総務部地域拠点施設準備室長	
事務局	今井昌幸	総務部地域拠点施設準備室参事	
事務局	安西一樹	総務部地域拠点施設準備室主任	
事務局	中川原英明	総務部地域拠点施設準備室	
コンサルタント	株式会社石本建築事務所札幌支所		1名
コンサルタント	日本都市設計株式会社		1名
計	16名		

欠席：本田ちづ子委員（ダンス教室 ami:φみり）